

16. 教育委員会報告

2005 年度最後の教育委員会の会議を以下のように開きました。

参加者：上野，岡部，黒木，小山，望月，森田(50 音順)

日時：3月26日(日)

12：00-13：45，16：30-17：00
(シンポジウムの前夜)

場所：中央大学5号館 5234
(シンポジウム会場)

次期委員長と委員について：

2006 年 6 月で委員長の任期の 2 期目が終わるので，委員長を交代する。

教育委員会は，次期委員長として黒木氏を推薦することにした。

また，委員は U 氏の推薦があった。

引継ぎ事項

(当面も引き続きやっていくが，...)

1. 理事長から検討依頼のあった以下の(1),(2),(3)の事項を各専門部会で議論し実行していく。

(1) 初等中等教育の新しい教育課程では，どのような算数・数学教育を行うべきか，またその実現のために必要な行動とは？

- ・ 学術会議数学教育小委員会の文書の検討をし，それを前提として，中教審へ要望書を提出した。
- ・ 浪川氏 (小委員会の代表) が取りまとめた)中教審への意見表明の冊子に何人かの委員が寄稿した。
- ・ 新しい学習指導要領については，山場でもあり，これからもどうするかを初等中等教育部会を中心として議論し，具体的な行動を提起していく。¹⁾

(2) 若者の学力と意欲の低下に対応して，数学の教養教育はどのように改め

るのが良いか・とくに，従来の理工系，新しい生命科学系と文系の数学教育はいかにあるべきか？

- ・ 基礎教育部会を中心として，前の委員会で新井紀子氏から提案のあった電子講義録作成の方向で，まずは，各分野向け(数物系・生物医学系・工学系・教育系・経済系など)のシラバスを集める。

(3) 数学の大学院教育の充足率を上げ，大学院教育の質を上げるためには，どのような選択肢があるか？

- ・ これはこれから専門教育部会を中心として具体策を議論する。

2. 教育職専門大学院の問題について

これについては，一応，教育委員会としては，数学会から中教審への要望書の案を書き上げたが，これからも推移を注視しつつ，検討を続けていく必要がある。

報告事項：

1. 教育委員会が作成した案をもとにして，数学会は2つの要望書を中央審議会へ提出しました。その2つとは，「学習指導要領の改訂」と「教員養成の専門職大学院」に関するものです。いずれも委員の皆様にはお送りしてあります。

2. そのうちの前者に関連して，浪川氏の要望書を取りまとめた冊子へ，委員の方が(個人の意見を出すことで)なるべく多く参加していただくようお願いしました。

3. 当日，シンポジウムが開かれ，250 人の参加で活発な議論が行われました。詳しくは，小山氏の報告をご覧ください(なお，当日，招待パネラーの発言中に不規則発言をした会員がいました。質問や討論の時間もありますので，このようなことは明らか

¹⁾5月13日13：00～17：00に数学協会主催のシンポジウム「こんな授業をやってみよう」が東大数理科学研究科で開かれます。委員の新井仁之氏の司会で、上野健爾氏もパネラーとして出ます。

なルール違反です．これからは対応も考える必要があります)

4．講師派遣も続けている．相変わらず小学校が多いが，中・高もポツリポツリきている(何人かの先生には，ご足労いただきました)．

この件に関して，「シンポジウムの会場の横で SPP の説明会をやりたい」と科学技術振興機構から申し入れがあり，理事会の了承も得た．しかし，2 日ほど前に先方に別件でトラブルが発生し実現ができなかった．いずれ，また機会をみて説明会を開きたいそうです．

(教育委員会委員長 岡部恒治記)